

インタビュー活動を通して、話す・聞く能力を育てる授業の実践 ～小学3年 国語～

1 はじめに

3年生にとって、初めてのインタビュー学習。大事な話を聞き取るのも難しいのに、更にメモを取りながら聞き取る活動。かなり難易度の高い学習です。でも、その活動を子ども達が意欲的に学習できたら…。

本実践では、話すこと・聞くことのス��を取り入れ、楽しく力を身に付け、単元を通して、上手に聞いてメモすることができるコツを話し合ったり、練習したりすることでインタビュー学習の課題を解決できるようにしていきたいと考え、実践しました。

2 「知識・技能を活用する学習活動の設定」

【グループによるインタビュー活動】

～簡単な質問に対する答えを聞きながらメモを取る練習～

二つのグループを1組にして、「どちらが好きか」をテーマに聞き合わせる。

【話す側】…組み立てメモを使って、どちらが好きかをその理由を挙げながら話す。

【聞く側】…メモを取りながら聞く。

※お互いの立場を交代させて聞き合わせる。

<答える側>

C1: 私の好きなものは、〇〇です。理由は、三つあります。一つ目は、…

※相手がメモを取るスピードを気にしながら話す。

C2: 理由は二つあります。… 書けましたか?

<メモする側>

C3: ※話を聞きながら、メモを取っている。

もう少しゆっくり言ってください。

もう一回、大きな声で言ってください。



【インタビュー活動をする様子】



お互いにインタビューし合う活動で、初めてのメモの取り方の練習であり、話す側もメモする側も声の大きさや話す速さなどを考えて、お互いを思いやりながら進める対話が聞かれた。ほとんどの児童は、適切、丁寧な言葉で発表できていた。また、発表メモ（組み立てメモ）をもとに話したことで、伝えたいことを的確に話すことができた。

メモを取る側は、「一生懸命聞くこと」が「一生懸命メモを取ること」になり、なかなか相手の顔を見ながら書くことはできていなかった。しかし、メモの取り方のポイントとなる項目を意識して、好きな理由について書くことができた児童が多かった。

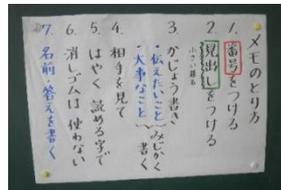
3 「共感的人間関係を育む教育活動」

【メモの取り方についての話し合い活動】

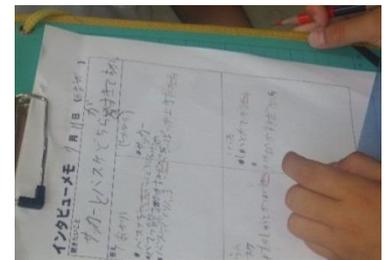
～よりよいメモの取り方について理解を深めるための話し合い活動～

メモを見返して、メモの取り方について話し合うポイントをもとに、大事なことを落とさず聞き取れているか確かめる。

【主に「番号」「短い言葉(大事な言葉)」「名前・答え」】



【メモの取り方について書かれた掲示物】



【インタビューメモ】

【メモについて話し合う姿 (グループで)】

- C 1 : みんなで見せよう。
- C 2 : 番号を付けられたね。
- C 3 : 理由をちゃんと書けた。かんぺき。(拍手)
- C 4 : でも、字がちょっと見にくい。
- C 5 : この言葉は、なくてもいいね。(訂正)
- C 6 : 短く書くのが難しい。
- C 7 : 書き足していいよ。 など

ポイントごとに確認をする班、一人一人のメモの書き方を確認する班など、それぞれの班でメモについて話し合った。



【全体でよいメモの取り方について交流する場面】

メモの形式的な書き方については、聞き取れなかったら質問をしたり、また、メモを見せ合い書き加えたりするなど、グループでの話し合いができていた。全体での話し合いでは、メモの取り方のよくできたところ、今後がんばるところなどを出し合い、確認することができた。

★ メモの取り方で一番難しいと思われる「大事なことを書く」というメモの内容について考えた。「よく聞いて頭に残すこと。頭に残ったことが大事なこと(忘れないように書くことがインタビューメモになる)」として、メモを取るだけでなく、聞くことの大切さについて理解することができた。

